

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点での事故・事件に関する情報収集の手段がなかった。
事業実施後の状況	交差点での情報収集ができるようになった。
事業の効果	防犯カメラがあることにより、事件の抑止効果が期待できる。また、事故があった時に客観的な情報源になっている。
今後の課題等	監視地域のカバー率がUPしたが、まだカバーできていない地域が3割ほどある。今後の課題として池田市警察と協議を詰めていきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域防災体制強化等事業
事業実施前の状況	南畑公園の倉庫老朽化
事業実施後の状況	防災倉庫として建て替え
事業の効果	南端公園を秦野地域の防災拠点とし、自主防災活動組織の立ち上げで防災倉庫としての役割
今後の課題等	地域住民の協力で防災倉庫としての管理体制構築

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	公共施設案内板設置事業①
事業実施前の状況	正式な案内板は無し
事業実施後の状況	渋谷公園・南畑公園 渋谷会館・南畑会館への案内板 5ヶ所設置
事業の効果	两会館・公園への行き方が分かり易くなりました
今後の課題等	歩道緑地帯に設置のため安全と維持管理

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	公共施設案内板設置事業②
事業実施前の状況	正式な案内板は無し
事業実施後の状況	渋谷公園・南畑公園 渋谷会館・南畑会館への案内板 5ヶ所設置
事業の効果	两会館・公園への行き方が分かり易くなりました
今後の課題等	歩道緑地帯に設置のため安全と維持管理

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	公園遊具整備事業
事業実施前の状況	渋谷公園のブランコが破損により使用不能
事業実施後の状況	渋谷公園内に新しくブランコを設置 (ブランコ本体・安全柵)
事業の効果	公園で遊ぶ子供たちが楽しそうにブランコを使用している
今後の課題等	地域の自治会等と安全対策と遊具破損のいたずら防止を協力しながら見守る

平成 31 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	AED 管理事業
事業実施前の状況	地域内会館に設置した AED の消耗品交換の必要性がある
事業実施後の状況	AED バッテリーとパッドの交換 地域住民への AED 講習会実施
事業の効果	AED バッテリー・パッド交換及び地域住民の AED 講習会参加により安全に使用できる
今後の課題等	今後も地域住民の AED 講習会参加の啓蒙活動を続ける

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	秦野小学校スポーツ器具等支援事業
事業実施前の状況	バレーボール支柱が重く運搬が難しい。ネットも老朽化している。体育館にてボール使用时出入口からボールが飛び出す
事業実施後の状況	カーボン製の軽量バレーボール支柱とネット、ボール飛び出し防止用ネットを購入した。
事業の効果	軽い支柱を購入したことにより運搬が楽になり危険を回避することができるようになった。ネットを購入しボールの飛び出し防止をはかる。
今後の課題等	教育委員会と協議し必要な備品整備に協力し、子供達の健全な育成に貢献していきたい。教育委員会とのコミュニケーションをより強化していきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	毎年度地域の協力も受け、レクリエーション大会の準備・補助を行っている。
事業実施後の状況	レクリエーション大会のプログラムパンフレットの作成・配布及び開催を補助を行いました。
事業の効果	地域・こども会の協力により、備品の貸し出しも含めレクリエーション大会が開催できた。
今後の課題等	自治会、こども会入会者の減少は止まらない。今後は地域住民の参加率向上を図り、こども会等の発展につなげていきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域コミュニティ推進協議会事務事業
事業実施前の状況	協議会の運営上必要な庶務的経費が必要
事業実施後の状況	協議会の運営がスムーズに行える。
事業の効果	地域住民への啓発及び周知が行える。
今後の課題等	協議会の運営をスムーズに行い地域住民への啓発及び周知を行う。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	「秦野まちづくりだより」は年間行事等説明文が多い。写真をより多くして見やすいものにし、行事にはより広くわかりやすい記事内容に努めた。
事業実施後の状況	年3回発行することが定着してきたこともあり、地域の認知度は高まり協力者及び参加者が増えている。
事業の効果	わかりやすい紙面づくりは好評で関心や認知度も上昇している。地域行事の内容も写真も使い、より詳しく伝えることで地域内の活性化につながっている。
今後の課題等	今後も活動のPRを進めて地域住民とのコミュニケーションを向上させていきたい。協議会の会員の募集も含め、啓もう活動及び行事参加者増加に努めたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	コミュニティサロン兼事務所整備事業
事業実施前の状況	喫茶店仕様の部屋をそのまま借り受けの為厨房等不要のスペース有。 トイレが和式で使いにくい。
事業実施後の状況	事務所兼サロンとして使用しやすくなった。 トイレも洋式に変更して、年配者及び子どもが利用しやすくなった。
事業の効果	事務所の機能が有り、会議・打ち合わせがスムーズに出来る。地域の人にも来所しやすくなった。
今後の課題等	地域の中心拠点施設として事務所・サロン（広場）として充実、円滑に維持運営をする。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	コミュニティサロン兼事務所管理運営事業
事業実施前の状況	開設したコミュニティサロン兼事務所は土・日曜日のみオープンで、地域とのコミュニケーションがとりにくい。
事業実施後の状況	平日オープンし事務所兼サロンとして使用しやすくなった為、地域とのコミュニケーションがとりやすくなった。
事業の効果	サロン（広場）機能が有り、会員の会議・打ち合わせ以外に地域の人も来所しやすくなった。
今後の課題等	地域の中心拠点施設として事務所・サロン（広場）として充実、円滑に維持運営をする。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業（南畑会館）
事業実施前の状況	会館の物品を置くスペースが少なく、備品の管理が不十分であった。
事業実施後の状況	棚を設置した。
事業の効果	棚を設置したことにより、備品の整理が改善され管理がスムーズにできるようになった。
今後の課題等	公共施設の備品の運営・維持・管理をより一層充実していきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	設置された掲示板の清掃が不十分なため汚い。 掲示用磁石の紛失。
事業実施後の状況	掲示板の点検・清掃、磁石の補充。
事業の効果	清掃され、マグネットでの掲示の為、作業がスムーズに行えるようになった。
今後の課題等	掲示板を定期的にチェックし、維持管理に尽力していきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域ギャラリー維持管理事業
事業実施前の状況	1か月ごとに作品入れ替えをしている。地域の催しの写真なども使い紹介した。幼稚園の作品展示も継続的になっている。
事業実施後の状況	会員の負担も軽減されスムーズに運営が行われている。地域事業の発信・住民の作品展示・地域イベントの写真などを多く展示し、広報活動に努めた。幼稚園、こども会などの掲示も多く好評である。
事業の効果	毎年、新しい作品が増えている。 認知度がさらにアップしている。 通行人の方にもよく見ていただいている。
今後の課題等	作品集めはまだまだ必要と感じている。 今後も根気強く広報活動を続けていきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	校区盆踊り大会事業
事業実施前の状況	スポーツ振興会・子ども会等で主開催している。 コミュニティ意識の高揚をはかる為に積極的に支援をする。小学校の耐震工事が終わった広いグラウンドで開催できた。
事業実施後の状況	備品などで共同開催を支援しており、参加人数も増加している。盆踊りの習得を促進するため小学校の体育館で2回練習会を行った。広いグラウンドで沢山の地域住民が盆踊りを行うことができた。
事業の効果	盆踊りを継続的に実施することにより、地域の親睦が図れ地域の風物詩として定着している。練習会は好評で子供達の盆踊り参加率向上に貢献している。

平成 31 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域イベント活性推進事業
事業実施前の状況	秦野小学校の耐震工事終了ため、あおぞら de はたのフェスタは秦野小学校での開催の予定。 テーブル等重く搬入に適さない物品あり。
事業実施後の状況	秦野小学校での開催で、小学校体育館・あおぞら幼稚園の園庭と遊戯室を利用した。軽量化した備品の拡充にも努めた。
事業の効果	あおぞら de はたのフェスタを秦野小学校に戻って行ったため周辺住民への認知度がより高まった。備品整備により、地域行事の円滑な活動に貢献できた。
今後の課題等	今後はあおぞら de はたのフェスタを秦野小学校で行う。地域住民の参加率の向上に向けてさらに努力していきたい。軽量備品の維持管理の精度を向上させていきたい。

平成 31 年 4 月 30 日

事 業 の 評 価 書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事 業 の 名 称	秦野地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	今回で 6 回目の事業。毎年渋谷中学校・地域の各団体と連携して行っている。
事業実施後の状況	保護者・保護者OB・教職員・地域の方々が参加し、およそ 20 回の活動を行い、菊づくりを中心に草花の栽培に対して支援した。 苗・土・肥料・鉢・プランターなどの用具も揃えることができた。
事業の効果	咲いた菊を中学校の文化祭で展示することにより来訪者を和ませた。あおぞら de はたのフェスタでも展示・販売を行い、認知度はさらに高まっている。また各会館・施設にも分けて喜ばれた。
今後の課題等	今後も継続的に支援していきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	自然学習講習会・昆虫育成事業
事業実施前の状況	カブト虫養育場での幼虫飼育、腐葉土の入替用意。
事業実施後の状況	雨のため渋谷会館で育成教育を行いました。会員が掘り出した幼虫を掌に載せる体験をし、幼虫を手渡した。養育場の腐葉土の入替を行った。
事業の効果	初めて幼虫を掌に載せた子供もおり貴重な体験になったと思う。幼虫を自宅で飼育観察し日記を作成することにより自然の営みを学習できたと思う。養育場の土の入替をすることにより、土壌の清潔さが保たれる。
今後の課題等	かぶと虫の養育を通じて今後も子供達に自然の大切さを訴えていきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	交通安全対策事業
事業実施前の状況	交通看板（飛び出し坊や）の破損が著しい
事業実施後の状況	新しく設置したり、修理して設置。 設置場所の変更もあり。
事業の効果	危険箇所に設置で安全性がたかまる。設置場所の再考で 危険箇所の減少。
今後の課題等	設置場所等の再確認、破損の速やかな対策。

平成31年4月20日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	秦野地域うたいっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	12月のコンサートは3回開催済み。キャロリングの道順は改善されて好評である。コンサート会場秦野小学校体育館の飾り付けと暖房が課題である。
事業実施後の状況	公募で集まった老若男女の団員が地域をキャロリングして小学校の体育館でミニコンサートを行い、地域交流を図った。前年度より体育館の舞台を横に使ったことは好評であった。
事業の効果	事業を継続実施することにより、うたいっぱい運動が定着しつつある。
今後の課題等	団員の拡充と広報活動の強化。会場の暖房。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	キッズランドでの文具等がまだ足りない。古いものを入れ替えができない。
事業実施後の状況	文具や教材、遊具等が増えた。
事業の効果	遊びの幅が広がり、楽しんで過ごしている。
今後の課題等	まだ文具等が足りないし古くなっているので、継続的に支援する必要がある。

平成31年4月20日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 藤村 真澄



記

事業の名称	地域内子ども会等活動支援事業
事業実施前の状況	前年度長野県より雪30トン搬入して秦野小学校グラウンドにて雪あそび。箕面市教学の森で飯ごう炊飯。 両イベントは好評である。
事業実施後の状況	予定日が雨の為実施日をずらせて雪の搬入。20トン。 本年度も教学の森で飯ごう炊飯。火おこしの訓練。
事業の効果	雪あそびは子ども会以外も対象とし、普段雪を見ることのない子供たちが自然を体感することができた。 野外炊事をしたことにより火おこし等自然に対応する力が少しは蓄えられたと思う。
今後の課題等	子ども会への加入者増加を協力して行い、支援を続けていきたい。